

# みなぎの通信



県立吉川高等学校 学校だより  
令和5年度 第16号  
2023年10月4日(水)発行  
【ミズヒキ】

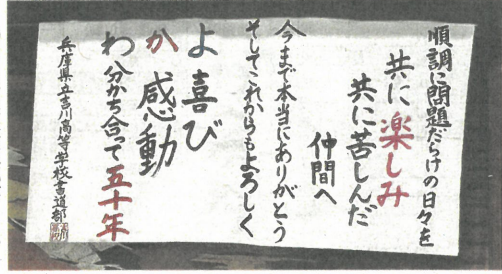
吉川高校(三木市吉川町渡瀬)の創立50周年記念式典が、三木市吉川町西奥の吉川総合公園パストラルホールで開かれた。同校は2025年度に三木北、三木東高校と統合し、27年3月で閉

校となる。在校生や学校、地域関係者約400人が出席。地域とともに歩んだ半世紀を祝いつつ、新たに開校する学校へ吉川高校の思いを引き継ぐ決意を込めた。(長沢伸一)

## 仲間、地域への感謝胸に前へ



自吉川高校書道部がしたためたメッセージ  
和太鼓演奏を披露した生徒有志



### 吉川高校創立50周年記念式典

「一番に生徒を大切にされ、温かみと親しみを大いに感じる素晴らしい一日を過ごすことができました。生徒代表の『吉川高校に来てよかった』の言葉について、目頭が熱くなりました。来賓として出席された、ある校長の感想です。生徒活躍の記録、今号では式典の様子を、神戸新聞 2023年(令和5年)10月3日付けの記事で振り返ります。なお、記事の転載にあたっては、神戸新聞社より著作物使用の許諾を得ています。」

式典に先立ち、2、3年生の有志10人が和太鼓演奏を披露した。この日のために3カ月練習を積んだ生徒たちが躍動。「それっ」とかけ声を合わせ、力強い音を会場に響かせた。

よ 喜び  
か 感動  
わ 分かち合って五十年

同校は戦後間もない1948(昭和23)年10月に設置された有馬高校吉川分校が前身。74年に独立し、吉川高校となった。昭和・平成・令和の半世紀で7千人の卒業生を送り出してきた。記念式典は9月30日(金)にあり、ステージには、同校書道部員が筆でしたためたメッセージが掲げられた。

### 校内外の400人出席 生徒の書や和太鼓演奏で花添え

藤本哲也校長は式辞で、学校の歩みや27年に閉校となることに言及し「50年にわたってリレーされてきた『恩』という見えないたすきをつなぎ、無事にゴールすることを約束する」と述べた。吉川町出身の上北夏味さんがリーダーを務めるアカペラグループ「宝船」の記念公演も行われた。



約400人が節目を祝った吉川高校の50周年記念式典=いずれも吉川総合公園

よ 喜び か 感動 わ 分かち合って 50年!  
**高** 兵庫県立 吉川高等学校

〒673-1129  
三木市吉川町渡瀬300-12  
Tel 0794-73-0068

